

IT活用・懇談会 概念データモデル設計法の現状と今後

書籍発行に至った経緯(本書の位置づけ)

2011年6月14日
三田いきいきプラザ(港区)

安保秀雄

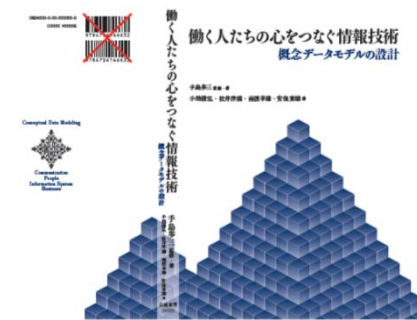
現状をどう見るか

■ 書籍発行

- 方法論の改訂
- 南波さんの企画・交渉
- 国内IT産業、製造業の閉塞感が背景（「あとがき」にあるように・・・）
- 基盤と支柱がない
- 時代の要請（このままでは生き残れない）

■ 日本の製造業の現状

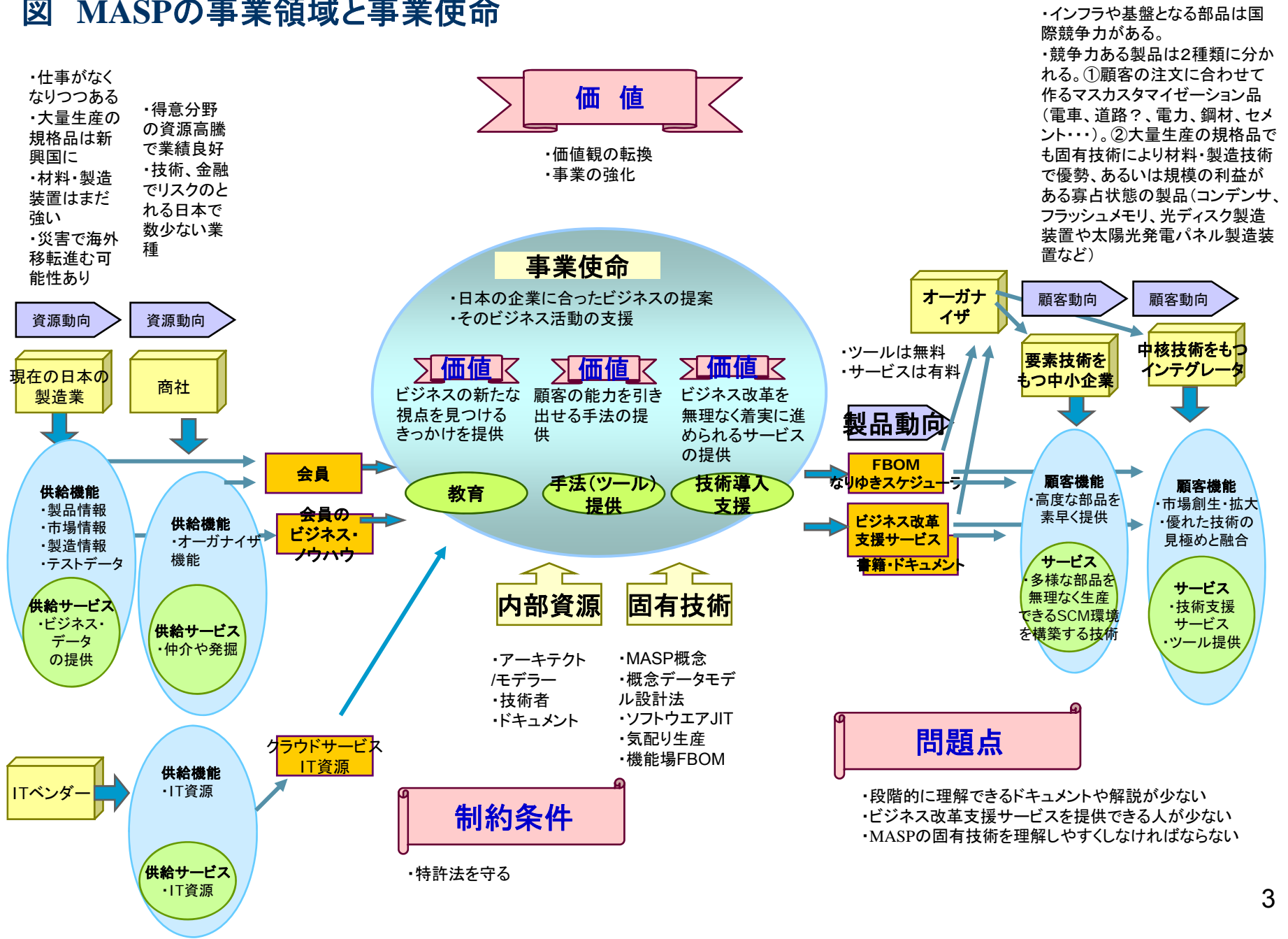
- 組織の状況（冒頭の菊川氏のコメント）
- 生き残るためには？



■ MASPの役割

- 日本の企業に合ったビジネスの提案とそのビジネス活動支援では

図 MASPの事業領域と事業使命



今後

- 事業基盤と支柱が壊れると怖い
 - 製造業
 - 非製造業

(MASPの考え方は基盤と支柱になりえるか)
- 製造業では
 - 構想、開発、生産、販売、保守、拡張・・・
 - 機能場FBOM
 - FBOM、なりゆきスケジューラ
 - 計画と現物の整合、見込先行手配と段階的仕様詳細化・・・
 - 日本企業の役割と若手成長の場の確保